

# 特記仕様書

工事名称 市営宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事

工事場所 三原市宮浦一丁目

工事内容 市営宮浦北住宅2号棟の外壁改修を行う。

## 【工事概要】

- ・外装改修工事
- ・屋上防水改修工事
- ・縦樋、軒樋取替工事

準則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書(各最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修)に基づき施工する。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・消防法、同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- ・建設業法、同施行令、同施行規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
- ・その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて請負代金額の増減はなきものとする。

本設計図書と不整合が確認されて設計変更(増額)が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。

商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。

設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工期 本工事は請負契約締結の後、令和9年2月25日をもって工期とする。

このうち検査期間として13日間を見込んでいます。(工事の完成通知予定日は令和9年2月12日。)

留意事項

- ・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。
- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領(建築工事)」(令和7年6月24日改定)により工事を行うこと。
- ・工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。

- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて施設使用者の通行制限を行うこととする。工事の詳細については、事前に施設管理者等への説明を行って承諾を得ること。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・生成AIを積極的に活用して工事を進めること。提出書類については、必ず生成AIによるチェックを行った上で提出すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出し、出席者に内容を共有すること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・外壁改修工事については、養生等によりバルコニー側の窓の開閉を制限するため、比較的気温の低い時期（10月頃）から着手すること。ただし、外壁劣化調査数量については、9月中に報告すること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音測定については、騒音規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・振動測定については、振動規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・敷地境界付近には仮囲い（高さ3m以上）を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
- ・敷地の出入口付近には、敷鉄板（下部に碎石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。

- ・ 工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。
- ・ 受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・ 仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・ 図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・ 足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・ 台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・ 足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・ 足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・ 足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・ 外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・ 工事に係る電気、水道及び下水道使用料金等は受注者の負担とする。
- ・ 工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・ 重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・ 雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日から10年間責任を負うこと。このことについて、保証書を作成して提出すること。（改修工事については、本工事の範囲）
- ・ 図面に水勾配がある箇所については、施工図に勾配のパーセントを記載すると共に、完成図にも勾配のパーセントを計測して記載すること。計測する箇所については監督員と協議すること。
- ・ 塗装の下塗り、中塗り、上塗りは原則的に色を塗り分けること。
- ・ 外壁劣化状況の調査費用は本工事で見込んでいます。
- ・ 「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
- ・ 石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・ その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・ 石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。（2検体）
- ・ 石綿含有塗材除去作業に当たっては、原則として事前に試験施工を行い、除去後の検体を採取することによって、石綿が除去されることを確認すること。分析調査費等は見込んでいる。
- ・ 作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の使用位置を確認させること。
- ・ 石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・ 石綿含有建材の除去専門業者については、建設技術審査証明協議会による「建設技術審査証明事業」の提出、又は本工事に相応した技術を有することが分かる施工実績証明等が確認できること。
- ・ 石綿含有建材の除去業者については、一般健康診断・石綿健康診断・じん肺健康診断の3種類を定期的に受診していることが確認できること。
- ・ 石綿を含有する建築物の解体等を行う際には届出を行うこと。レベル1・2については「工事計画届」「特定粉じん排出等作業届書」「事前届出の実施」「建築物解体等作業届」等遅滞なく提出すること。
- ・ 仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・ その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・ 品質証明員（技術士、1級施工管理技士もしくは1級建築士の資格を有するもので、当該工事に従事していない者）を定める場合は、「総合施工計画書」に品質証明計画と品質証明員の氏名・資格を記載し、資格証明書の写しを添付すること。
- ・ 品質証明員を定める場合は、品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に行うこと。また、社内

検査を実施し、報告書等を適宜提出すること。

- 大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうち、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
- 本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- 熱中症対策として、従業員及び作業員が必要に応じて水分を補給できるよう作業所に給水設備を設置すること。
- 広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- 各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- 工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データを整理して、CD-R又はDVD-R(2部)にて提出すること。
- 書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- 請負代金額300万円以上の工事について、建設業退職金共済事業部の「建設業退職金共済制度事務処理手引き（令和7年10月改訂版）」に基づき、「掛金収納書提出用台紙」及び「建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表」を提出すること。
- 完成写真（竣工写真）の撮影を外注する場合は、撮影データを三原市が利用することについての承諾書を提出すること。（押印した原本）
- 製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。  
（契約図について、変更があれば変更部分を修正し、完成図であることを明記して一式を製本する。）
- 以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

# 市宮宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	図面リスト	A-13	天井伏図
特-01	建築改修工事特記仕様書(1)	A-14	平面詳細図
特-02	建築改修工事特記仕様書(2)	A-15	部分詳細図(1)
特-03	建築改修工事特記仕様書(3)	A-16	部分詳細図(2)
特-04	建築改修工事特記仕様書(4)	A-17	仮設計画図(参考図)
特-05	建築改修工事特記仕様書(5)		
特-06	外壁改修工事特記仕様書(1)		
特-07	外壁改修工事特記仕様書(2)		
A-01	付近見取図、工事概要		
A-02	配置図		
A-03	仕上表		
A-04	1~4階平面図、建具配置図		
A-05	5階平面図、建具配置図		
A-06	塔屋1・2階平面図、建具配置図		
A-07	立面図(1)		
A-08	立面図(2)		
A-09	立面図(3)		
A-10	矩計図		
A-11	階段詳細図		
A-12	建具表		

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE 2026.03.	SCALE -	TITLE 市宮宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事 NAME 図面リスト	NO. A 00	図面縮小率 A-2: 100% A-3: 71% A-4: 50%
------	------	---	----------	------------------	------------	---	----------------	--





4-1 外壁改修工事 共通事項	① ポリマーセメントモルタル	(品質・性能) [4.2.2] 項目 品質・性能 だれ 下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。 曲げ強さ (N/mm2) 6.0以上 圧縮強さ (N/mm2) 20.0以上 接着強さ (N/mm2) 標準条件 1.0以上 特殊条件 湿潤時 0.8以上 低温時 0.5以上 透水性 裏面のぬれ、水漬の付着が無いこと。 その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルジョンは、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。
	2 ポリマーセメントスラリー	(品質・性能) [4.2.2] 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張接着性 (材齢28日) (N/mm2) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2) 吸水性 (72時間) (%) (劣化曲げ強さ) (N/mm2) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2) 3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00
	3 吸水調整材	改修標準仕様書表4.3.2による [4.3.5]
	4 既調合モルタル	[4.3.5] モルタル下地としたタイル工事に使用する強付用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80 kg/L以上 曲げ強さ 4.0 N/mm2以上 接着強さ 標準時 0.60 N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40 N/mm2以上 (試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上り量が異なり換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型をく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型を上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるように静置する。60分後に紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直交する方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの内径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すの「50角ユニットタイル (外のり付約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で温湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T : タイルの母材破断 TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断 M : 既調合モルタルの母材破断 MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断 G : 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で温湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 エ) 接着強さ (温冷繰り返し) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同じとする。 (温冷繰り返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰り返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸漬させた後、直ちに-20±2℃の恒温槽中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温槽中で3時間加熱し、この2時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び剥れの有無を目標によって調べる。 (温冷繰り返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペルジョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。

4-2 外壁改修工事 コンクリート打ち直し外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.4, 5, 6, 7] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/㎡) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 200~300 ※40 - 注入工法 0.3以上0.5未満 ※40 - 0.5以上1.0未満 ※70 - ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 - ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 - 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 - 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※ 1成分又は2成分ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
	2 欠損部改修工法	※ 充填工法 [4.1.4] [4.2.4, 8] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル
	1 ひび割れ部改修工法	※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.5, 6, 7, 8] ※ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/㎡) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 200~300 ※40 - 注入工法 0.3以上0.5未満 ※40 - 0.5以上1.0未満 ※70 - ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 - ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 - 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 - 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分又は2成分ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し外壁) による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による
	2 欠損部改修工法	※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所程度以下の場合) [4.1.4] [4.3.9, 10] 充填材料の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・ モルタル塗替え工法 モルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状) 図示 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示

4-3 外壁改修工事 モルタル塗替え外壁	1 ひび割れ部改修工法	※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.5, 6, 7, 8] ※ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/㎡) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 200~300 ※40 - 注入工法 0.3以上0.5未満 ※40 - 0.5以上1.0未満 ※70 - ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 - ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 - 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 - 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分又は2成分ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し外壁) による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による
	2 欠損部改修工法	※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所程度以下の場合) [4.1.4] [4.3.9, 10] 充填材料の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・ モルタル塗替え工法 モルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状) 図示 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示
	3 浮き部改修工法	※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.11~16] ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
	4 外壁複合改修工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする

4-4 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	③ 仕上塗材仕上げ	[4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 仕上塗材の種類 ・ 薄付仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材 防火材料 ※ 外装薄塗材 E ・ 厚付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材 防火材料 ・ 適用する ・ 適用する ○ 複層仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 ※ 複層塗材 E ・ 溶媒 ※ 水系 ・ 樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ 耐候形 3種 軽量骨材仕上塗材 呼び名 防火材料 マスチック塗材 種類 ・ A種 ・ B種 [4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1] 工法及び仕上げの形状 ・ 吹付け ( ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 ) ・ ローラー塗り ( ・ 均す状状 ・ さざ状状 ) 仕上げ塗料の耐水性 ・ 耐水性1種 ・ 耐水性2種 ・ 耐水性3種 下地準拠骨材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4-2章外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修) による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4-3章外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。 吹付け工法の仕様材の種類 ( ・ 所要量 (kg/m2) ) 外壁用仕上塗料の種類 ( ・ 所要量 (kg/m2) )
	4 マスチック塗材塗り	[4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]
	5 外壁用塗料防水材塗り	[4.1.5] [4.7.2, 3] [表4.7.1]
	外壁改修フロー及び数量	・ コンクリート打ち直し仕上げ外壁の場合 既存仕上げ材の処理範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 外壁調査 (施工数量調査) ひび割れ部改修 欠損部改修 浮き部改修 樹脂注入工法 (注1) Uカットシール材充填工法 シール工法 充填工法 剥離工法 (工法名) A) 0.2以上0.3未満 0㎡ ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 A) 0.3以上0.5未満 0㎡ ※既存仕上げ面全体 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁) A) 0.5以上1.0未満 0㎡ ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 B) 0.2以上0.3未満 0㎡ ※サンダー工法、高圧水洗工法、 C) 0.3以上0.5未満 0㎡ 剥離工法による C) 0.5以上1.0未満 0㎡ 剥離工法による 下地調整材の施工範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 仕上塗材仕上げ施工範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 ・ モルタル塗り仕上げ外壁の場合 既存仕上げ材の処理範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 外壁調査 (施工数量調査) ひび割れ部改修 欠損部改修 浮き部改修 モルタル撤去 ・ しない ・ する アンカーピンニング注入工法 樹脂注入工法 (注1) Uカットシール材充填工法 シール工法 充填工法 モルタル塗替え工法 (工法名) A) 0.2以上0.3未満 0㎡ ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 A) 0.3以上0.5未満 0㎡ ※既存仕上げ面全体 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁) A) 0.5以上1.0未満 0㎡ ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 B) 0.2以上0.3未満 0㎡ ※サンダー工法、高圧水洗工法、 C) 0.3以上0.5未満 0㎡ 剥離工法による C) 0.5以上1.0未満 0㎡ 剥離工法による 下地調整材の施工範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 仕上塗材仕上げ施工範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 ・ タイル張り仕上げ外壁の場合 外壁調査 (施工数量調査) ひび割れ部改修 欠損部改修 浮き部改修 目地改修 タイル除去 ・ する ・ しない アンカーピンニング注入工法 樹脂注入工法 (注1) Uカットシール材充填工法 タイル部分張替工法 タイル張替工法 (工法名) 目地ひび割れ改修 伸縮目地改修 A) 0.2以上0.3未満 0㎡ ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 A) 0.3以上0.5未満 0㎡ ※既存仕上げ面全体 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁) A) 0.5以上1.0未満 0㎡ ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 B) 0.2以上0.3未満 0㎡ ※サンダー工法、高圧水洗工法、 C) 0.3以上0.5未満 0㎡ 剥離工法による C) 0.5以上1.0未満 0㎡ 剥離工法による 下地調整材の施工範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 仕上塗材仕上げ施工範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示 (注1) 4-2.1, 4-3.1及び4-4.2のひび割れ部改修工法における樹脂注入工法の種類を示す A) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、B) 手動式エポキシ樹脂注入工法、C) 機械式エポキシ樹脂注入工法

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE 2026.03.	SCALE	TITLE 市宮宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事	NO.	図面縮小率 A-2: 100% A-3: 71% A-4: 50%
			CH.	P.L.	DR.	NAME 建築改修工事特記仕様書(3)	特 03	

Table with 2 columns: Item No. (22-26) and Description. Item 22: 合成樹脂塗料. Item 23: 防じん用塗料. Item 24: フローリング張り. Item 25: 量置き. Item 26: セッコウボードその他ボード及び合板張り.

Table with 2 columns: Item No. (27-29) and Description. Item 27: 壁紙張り. Item 28: モルタル塗り. Item 29: タイル張り.

Table with 2 columns: Item No. (30) and Description. Item 30: セルフレベリング剤.

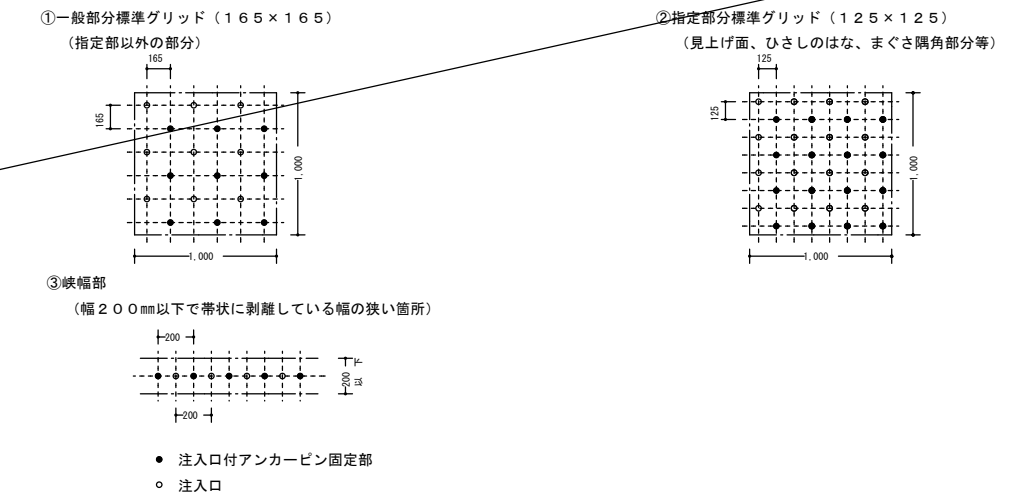
Table with 2 columns: Item No. (7, 1, 3) and Description. Item 7: 塗装改修工事. Item 1: 材料. Item 2: 下地調整, 素地ごしらえ. Item 3: 錆止め塗料塗り. Item 4: 仕上げ塗料塗り.

Project Information Form including: 特記事項, 訂正事項, 協同組合 建築設計団SOU間, 一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号, JOB. NO., DATE (2026.03), SCALE, TITLE (市宮宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事), NO. (特 04), 図面縮小率 (A-2: 100%, A-3: 71%, A-4: 50%), 建築改修工事 特記仕様書 (4)





<b>名称</b> <b>記号・仕様</b>		<b>D 浮き部処理</b> D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.14] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.13]																									
改修前	改修後																										
<b>工程</b>		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーン</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーン</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>		①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	②孔内エアークリーン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン		③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアークリーン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )		④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	
①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																						
②孔内エアークリーン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン																							
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアークリーン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )																							
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)																							



<b>名称</b> <b>記号・仕様</b>		<b>E 欠損部処理</b> E-1 打放し面充填工法 [標仕4.3.7] E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.3.3] E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4.4.3]		<b>F 外壁複合改修工法</b> F 外壁複合改修工法 大庇・バルコニーに適用する	
改修前	改修後				
<b>工程</b>		<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ③欠損部はつり部埋戻し [エポキシ樹脂モルタル又はポリアセトモルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量：</p>		<p>①欠損部・錆筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [エポキシ樹脂モルタル又はポリアセトモルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量：23ヶ所</p>	
		<p>①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ④欠損部はつり部埋戻し [エポキシ樹脂モルタル又はポリアセトモルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：0.1㎡</p>		<p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p>	

参考数量	ネット張り		
	水切り		

<b>名称</b> <b>記号・仕様</b>					
改修前	改修後				
<b>工程</b>					

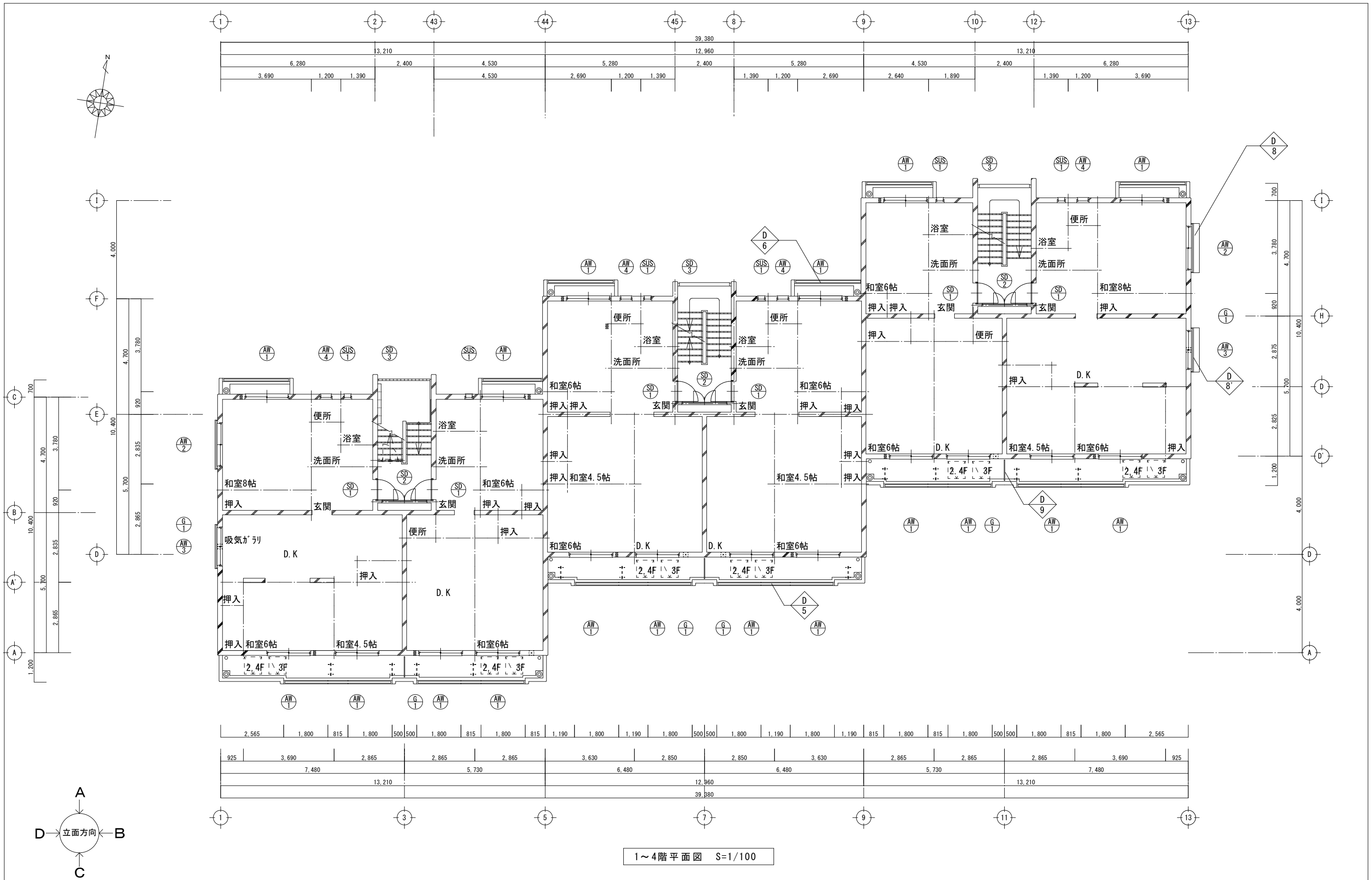
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO. DATE 2026.03. CH. P.L. D.R.	SCALE TITLE 市宮宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事 NAME 外壁改修工事特記仕様書(2)	NO. 特 07	図面縮小率 A-2: 100% A-3: 71% A-4: 50%
------	------	---	---	---	----------------	--





外 部 仕 上 表						下地処理						
棟	符号	場所・部位	下地	改 修 前	劣化部 クラック、 剥離、 浮き、 M、C部	下地高田 水洗面 M、C部	劣化部 クラック、 剥離、 浮き、 M、C部	改 修 後			備 考	
住居棟	①	屋根	屋根	C	直押えアスファルト防水一層の上 アスファルトシングル葺き	○		不良部剥ぎ取り	アスファルトシングル葺き<新設> カバー工法			
	②		うち樋	C	防水モルタル金コテ押 塗布防水	○	○	劣化部剥ぎ取り+下地調整	塗膜防水 (密着)	ドレイン更新 (改修ドレイン) ※1		
	③		妻壁立上り 頂部	C	笠木 耐酸メタル t=1.3	○			アルミ製笠木<新設>	アスファルトルーフィング下張		
	④	階段室	平部	C	シート防水 (密着)	○			塗膜防水 (密着) <新設>	ドレイン更新 (改修ドレイン) ※1		
	⑤		立上り部	C	シート防水 (密着)	○			塗膜防水 (密着) <新設>			
	⑥		防水上部アゴ、頂部	C	防水モルタル塗	○	○		塗膜防水 (密着) <新設>			
	⑦	外壁	根回り	M	モルタル金コテ +C1塗	○	○		複層塗材E吹付<新設>			
	⑧		外壁・バラベット バルコニー壁	C	アクリルリシン吹付	○	○		複層塗材E吹付<新設>			
	⑨		打ち継ぎ目地	C	シーリング				シーリング打ち換え			
	⑩	軒・庇	軒裏	C	アクリルリシン吹付	○	○		外装薄塗材 (E) 吹付<新設>			
	⑪		庇裏	C	アクリルリシン吹付	○	○		外装薄塗材 (E) 吹付<新設>			
	⑫		庇 (上部分・見付・小口)	M	防水モルタル金コテ	○	○		塗膜防水 (X-2) <新設>			
	⑬	窓廻り	面台	M	防水モルタル金コテ	○	○		塗膜防水 (X-2) <新設>			
	⑭		窓廻りシーリング	M	シーリング				シーリング打ち換え			
	⑮	バルコニー	バルコニー軒裏	2, 3, 4, 5F	C	アクリルリシン吹付	○	○		外装薄塗材 (E) 吹付 <新設>		
	⑯			1F	C	コンクリート打放し	○	○				
	⑰		バルコニー床	M	防水モルタル金コテ	○	○		ポリマーセメント系塗膜防水 (PA-1) <新設>			
	⑱		手すり	S	SOP			鉄部下地処理	<塗替え (DP)>	小口カバー		
	⑲	隔て板	柵 パネル	大平板	S	SOP 大平板 +VP		鉄部下地処理	<塗替え (DP)> パネル<新設> : ケイカル板 t=6.0 DP塗装、避難用ステッカー貼替 カラーVPφ100に取替 掴み金物共SUS (新設)	表示ステッカー新設 つかみ金物の壁とりつき部は残置<塗替え DP>		
	⑳	縦樋	縦樋 (北側)	VP	塩化ビニールパイプ				SGP125φDP塗装 掴み金物共 (SUS) <新設>			
	㉑		保護管	S	SGP125φ							
	㉒		縦樋 (バルコニー側)	VP	塩化ビニールパイプ				カラーVPφ100、φ75に取替 掴み金物共 (SUS) <新設>	つかみ金物の壁とりつき部は残置<塗替え DP> ドレイン塗替え※1、ストレーナー取り換え		
	㉓	階段室	壁	C	アクリルリシン吹付 (A-1)	○	○		外装薄塗材 (E) 吹付 <新設>			
	㉔		腰壁	M	モルタル金コテの上AEP (A-2)	○	○		複層塗材E吹付 <新設>			
	㉕		天井	LGS	大平板 t=5.0+アクリルリシン吹付	○	○		外装薄塗材 (E) 吹付 <新設>			
	㉖		段裏	C	アクリルリシン吹付 (A-1)	○			外装薄塗材 (E) 吹付 <新設>			
	㉗		階段室 (P・Sドア)	S	SOP塗 (下地処理)			鉄部下地処理	<塗替え (DP)> (両面)	内外とも同色とする。		
	㉘		玄関ドア	S	SOP塗 (下地処理)			鉄部下地処理	<塗替え (DP)> (両面) <ゴムパッキン取り換え>	内外とも同色とする。		
	㉙		アプローチ段差	S	ノンスリップタイルと舗装面に50程度の段差				<段差解消> 階段巾×3000 段差解消 (掘りつけ) : コンクリートこて押さえ (刷毛引き) 、ワイヤーメッシュφ-150φ	既存舗装面 (アスファルト舗装) : コンクリートカッター		
	㉚	目隠し						アルミパネル<再取付>				
	㉛	棟番号表示	S	鋼製SOP 2ヶ所 400×300 700×200	○			ステンレス製DP 2ヶ所 400×300 700×200<新設>				
	㉜	サイン 階数表示、室名札、消火器ステッカー			○			階数表示板<新設> 室名札<新設> 消火器ステッカー<新設>	建具表 (SD-2) 参照			
	㉝	物干し金物	S	SOP				<塗替え (DP)>				
	㉞	窓手すり (転落防止)	S	SOP			鉄部下地処理	<塗替え (DP)>				
	㉟	換気口カバー						<クリーニング>	SUS製ガラリ付き150φ : 26カ所 SUS製ガラリ付き100φ : 52カ所			
	㊱	ポスト		ステンレス製				<クリーニング>				
	㊲	掲示板						<再取り付け>	各階段室1F部分に設置 (計3カ所)			
	㊳	住居表示						<再取り付け>	各階段室1F部分に設置 (計3カ所)			
	㊴	分電盤等	S	焼付塗装				<塗替え (DP)>				
	㊵	設備配管、配管取付架台金物	S	SOP				<塗替え (DP)>				
	㊶	床下換気孔	S	鑄鉄製 塗装品				<塗替え (DP)>				
	㊷	バルコニー避難ハッチ	SUS	本体 : スチール製 蓋 : スチール製 枠は残置				ハッチ<新設 (カバー工法)> 11カ所				

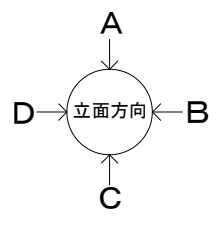
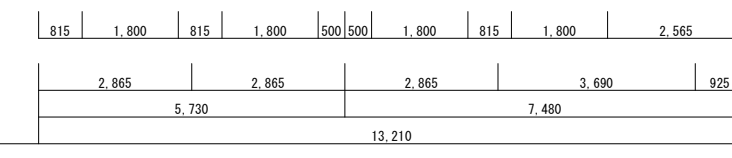
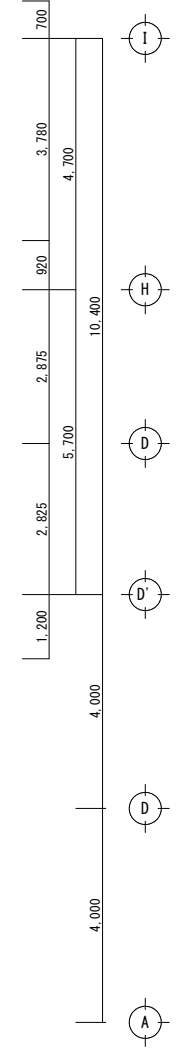
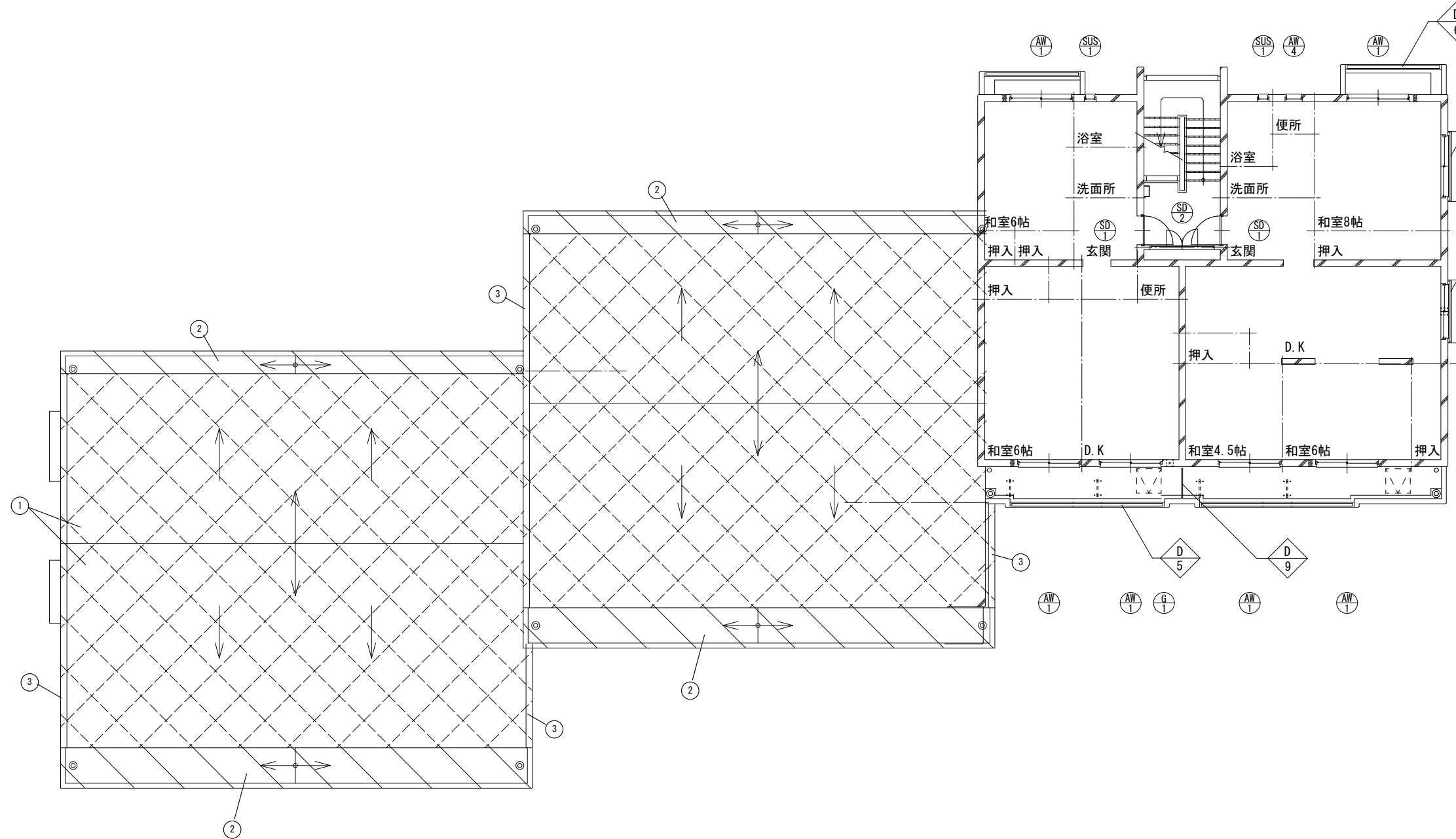
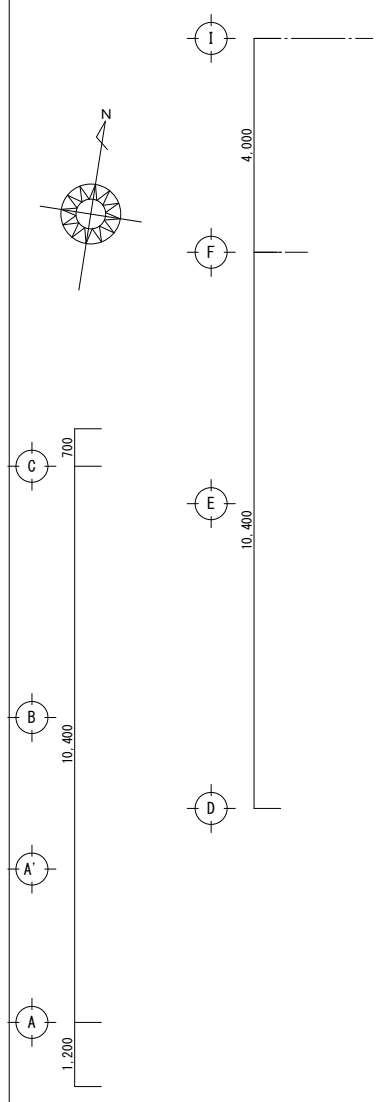
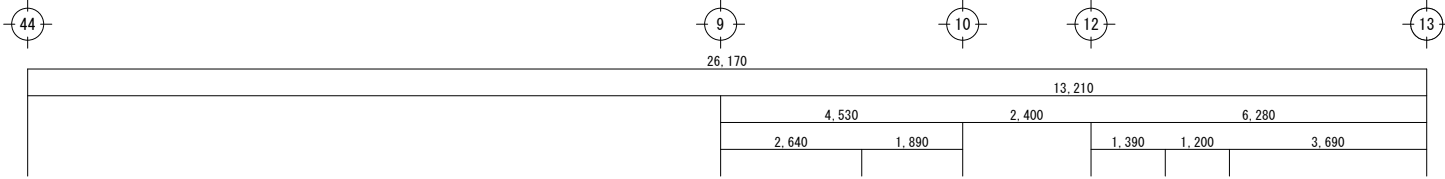
凡例	<table border="1"> <tr> <td>改修前</td> <td>***</td> <td>既存の撤去・処分を示す</td> </tr> <tr> <td></td> <td>***</td> <td>既存の一時撤去再取り付けを示す</td> </tr> <tr> <td>改修後</td> <td>&lt;***&gt;</td> <td>改修内容を示す</td> </tr> </table>	改修前	***	既存の撤去・処分を示す		***	既存の一時撤去再取り付けを示す	改修後	<***>	改修内容を示す	特記事項	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・エアコン室外機 一時移転再取付施工後作動確認</td> <td>14カ所</td> </tr> <tr> <td>・BSアンテナ 一時移転後再取付</td> <td>5カ所</td> </tr> <tr> <td>・外部建具 : 既存網戸撤去・処分</td> <td>AW-4 : 3カ所 SUS-1 (上部のみ) : 1カ所</td> </tr> </tbody> </table>	項目	備考	・エアコン室外機 一時移転再取付施工後作動確認	14カ所	・BSアンテナ 一時移転後再取付	5カ所	・外部建具 : 既存網戸撤去・処分	AW-4 : 3カ所 SUS-1 (上部のみ) : 1カ所	<table border="1"> <tr> <td>塗装面下地調整</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(イ)</td> <td>基礎メッキ面の下地調整R種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り</td> </tr> <tr> <td>(ロ)</td> <td>鋼製建具面の下地調整R種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り</td> </tr> <tr> <td>(ハ)</td> <td>モルタル・ボード面の下地調整R種30%</td> </tr> <tr> <td>(ニ)</td> <td>鉄面の下地調整R種30%の上、錆止め塗料A種、錆止め塗料塗りC種</td> </tr> <tr> <td>(ホ)</td> <td>VE (VP) 管の下地調整 汚れ付着除去程度</td> </tr> <tr> <td>(ヘ)</td> <td>アルミ面は、脱脂、エッチング、スマット除去溶剤、クロメート系化成膜処理材</td> </tr> </table>	塗装面下地調整		(イ)	基礎メッキ面の下地調整R種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り	(ロ)	鋼製建具面の下地調整R種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り	(ハ)	モルタル・ボード面の下地調整R種30%	(ニ)	鉄面の下地調整R種30%の上、錆止め塗料A種、錆止め塗料塗りC種	(ホ)	VE (VP) 管の下地調整 汚れ付着除去程度	(ヘ)	アルミ面は、脱脂、エッチング、スマット除去溶剤、クロメート系化成膜処理材	凡例	<table border="1"> <tr> <td>SOP</td> <td>合成樹脂調合ペイント</td> </tr> <tr> <td>AE (VP)</td> <td>塩化ビニル樹脂エナメル</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>コンクリート</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>モルタル</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>鋼製</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>合成樹脂エマルジョンペイント</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>耐候性塗料</td> </tr> </table>	SOP	合成樹脂調合ペイント	AE (VP)	塩化ビニル樹脂エナメル	C	コンクリート	M	モルタル	S	鋼製	EP-G	合成樹脂エマルジョンペイント	DP	耐候性塗料
改修前	***	既存の撤去・処分を示す																																																	
	***	既存の一時撤去再取り付けを示す																																																	
改修後	<***>	改修内容を示す																																																	
項目	備考																																																		
・エアコン室外機 一時移転再取付施工後作動確認	14カ所																																																		
・BSアンテナ 一時移転後再取付	5カ所																																																		
・外部建具 : 既存網戸撤去・処分	AW-4 : 3カ所 SUS-1 (上部のみ) : 1カ所																																																		
塗装面下地調整																																																			
(イ)	基礎メッキ面の下地調整R種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り																																																		
(ロ)	鋼製建具面の下地調整R種30%の上、鉛酸カルシウム錆止め、現場全面1回塗り																																																		
(ハ)	モルタル・ボード面の下地調整R種30%																																																		
(ニ)	鉄面の下地調整R種30%の上、錆止め塗料A種、錆止め塗料塗りC種																																																		
(ホ)	VE (VP) 管の下地調整 汚れ付着除去程度																																																		
(ヘ)	アルミ面は、脱脂、エッチング、スマット除去溶剤、クロメート系化成膜処理材																																																		
SOP	合成樹脂調合ペイント																																																		
AE (VP)	塩化ビニル樹脂エナメル																																																		
C	コンクリート																																																		
M	モルタル																																																		
S	鋼製																																																		
EP-G	合成樹脂エマルジョンペイント																																																		
DP	耐候性塗料																																																		
特記事項	訂正事項	その他外構	一級建築士事務所 広島県知事登録 2 4 (1) 第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO. DATE 2026.03 CH. PL. DR. SCALE - TITLE 市営宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事 NAME 仕上表	NO. A 03 図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%																																														



特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	PL.	DR.	1/100		

屋根防水改修工事

部 位	改修内容
屋根部	①
種	②

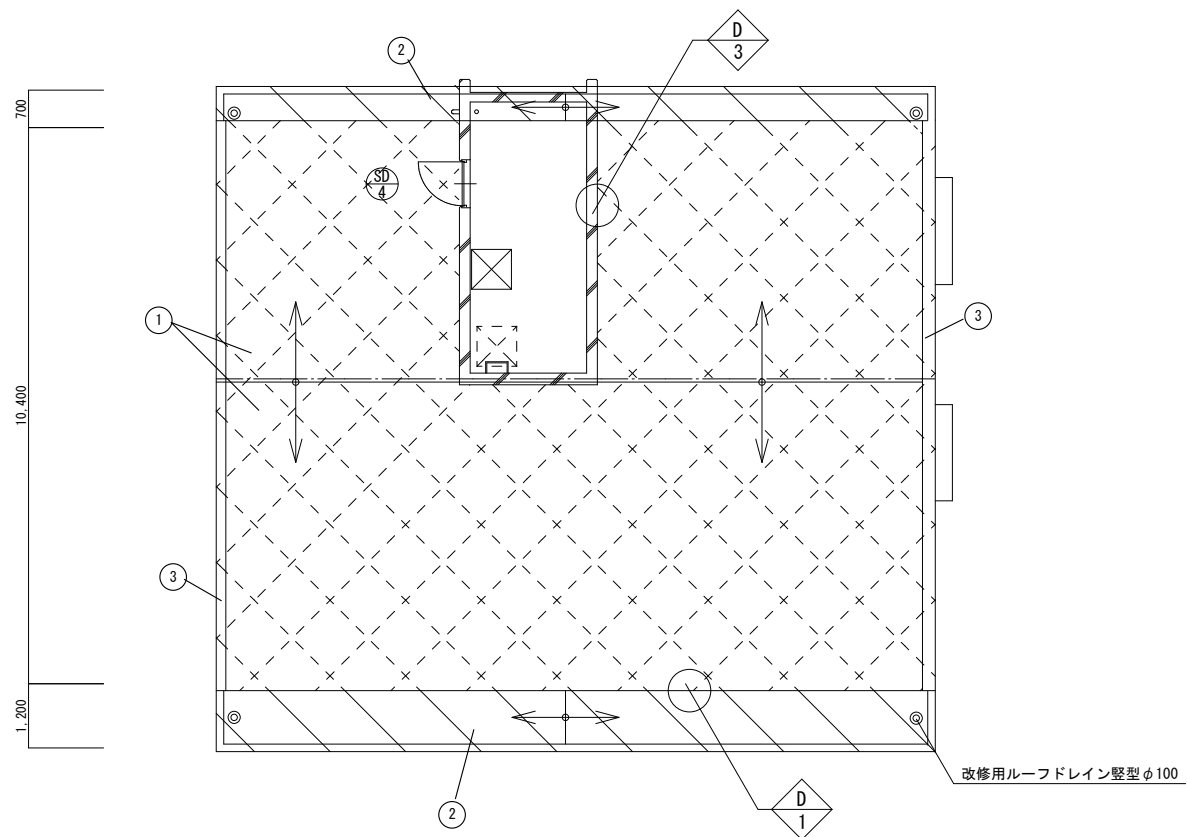
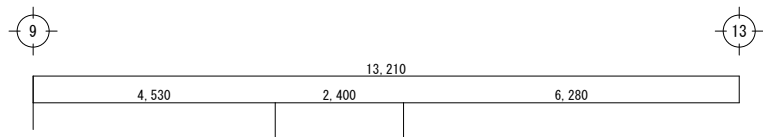
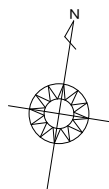


凡 例	
	コンクリート壁
	吸気ガ`ラリ 150×200
	クーラー用スリーブ` 100φ
	緩降機 700x700

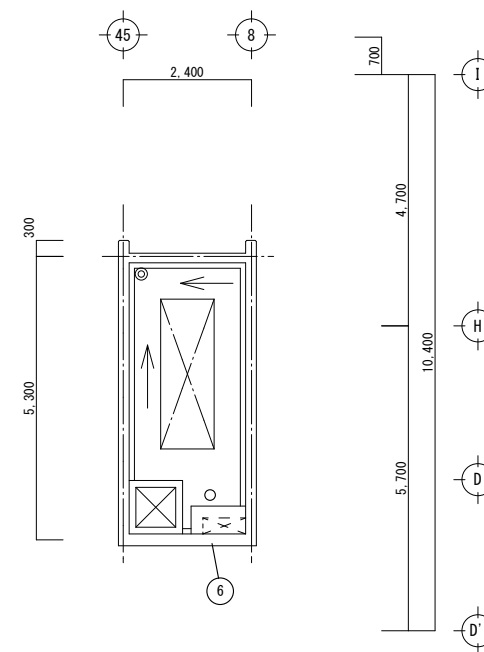
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO. A / 05	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	PL.	DR.	1/100		

屋根防水改修工事

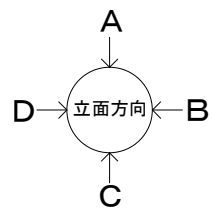
部 位	改修内容
屋根部	①
種	②



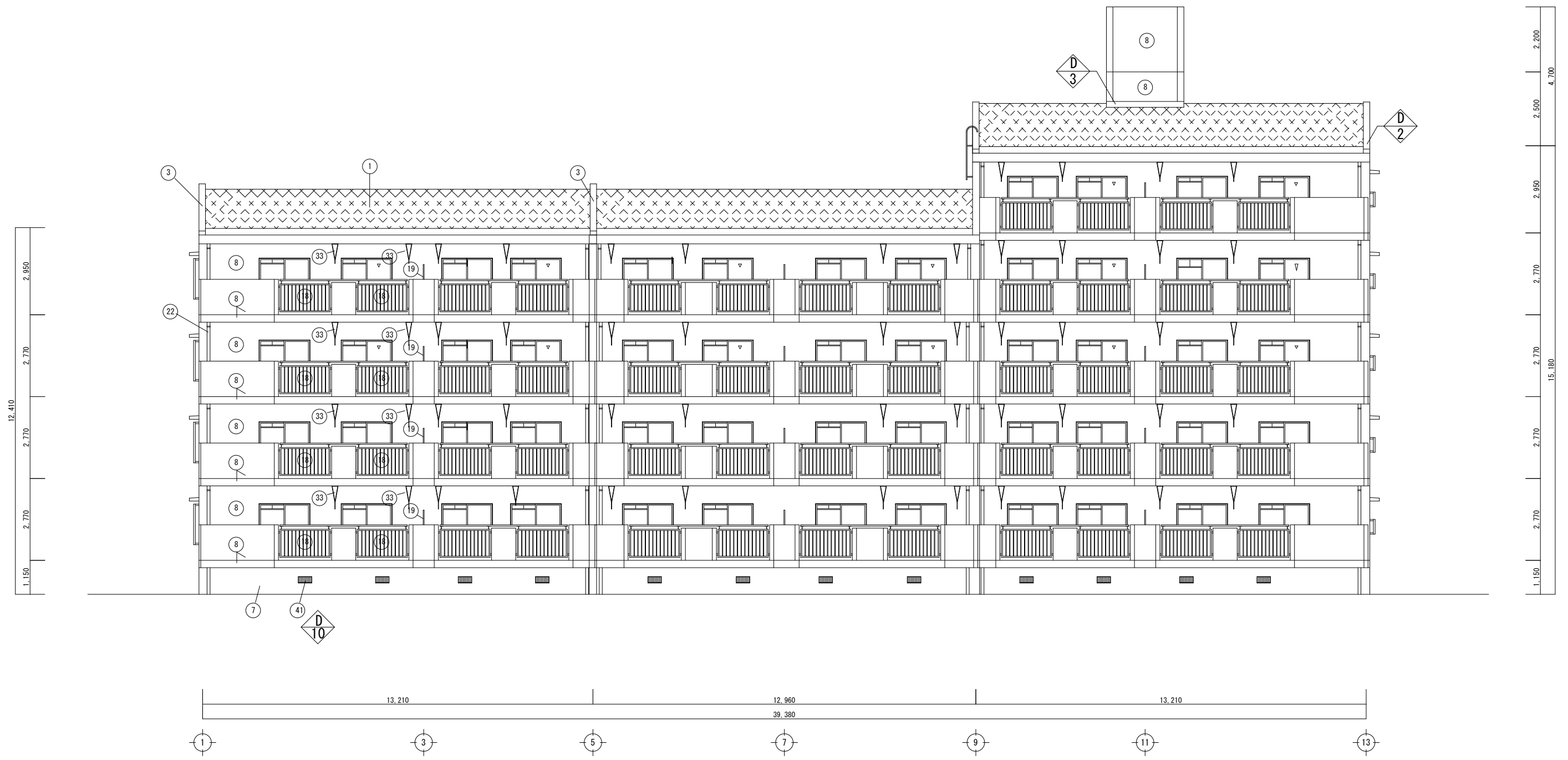
塔屋1階平面図 S=1/100



塔屋2階平面図 S=1/100

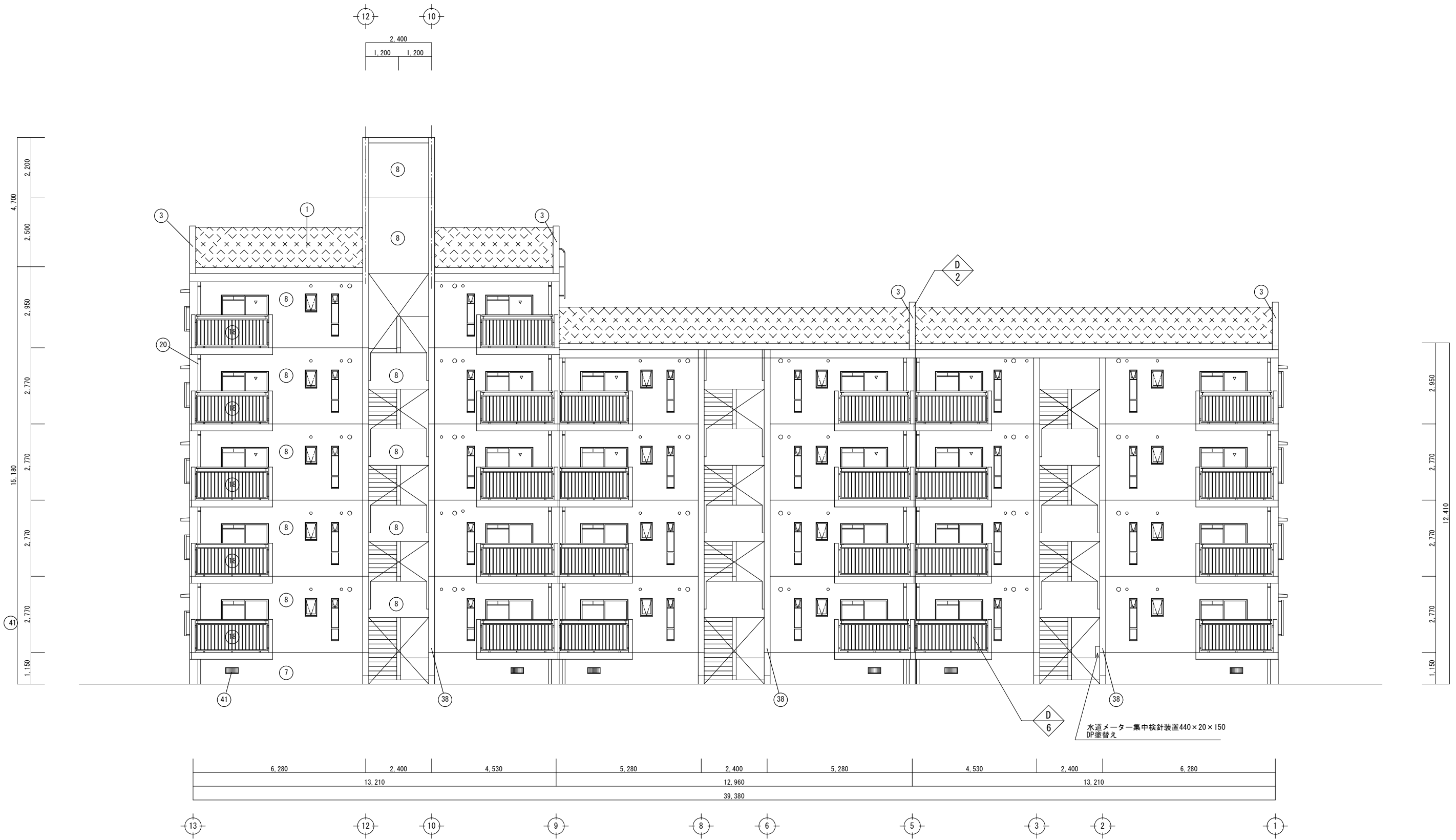


特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	PL.		DR.		
				2026.03.	1/100	市宮宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事		
						塔屋1・2階平面図、建具配置図		



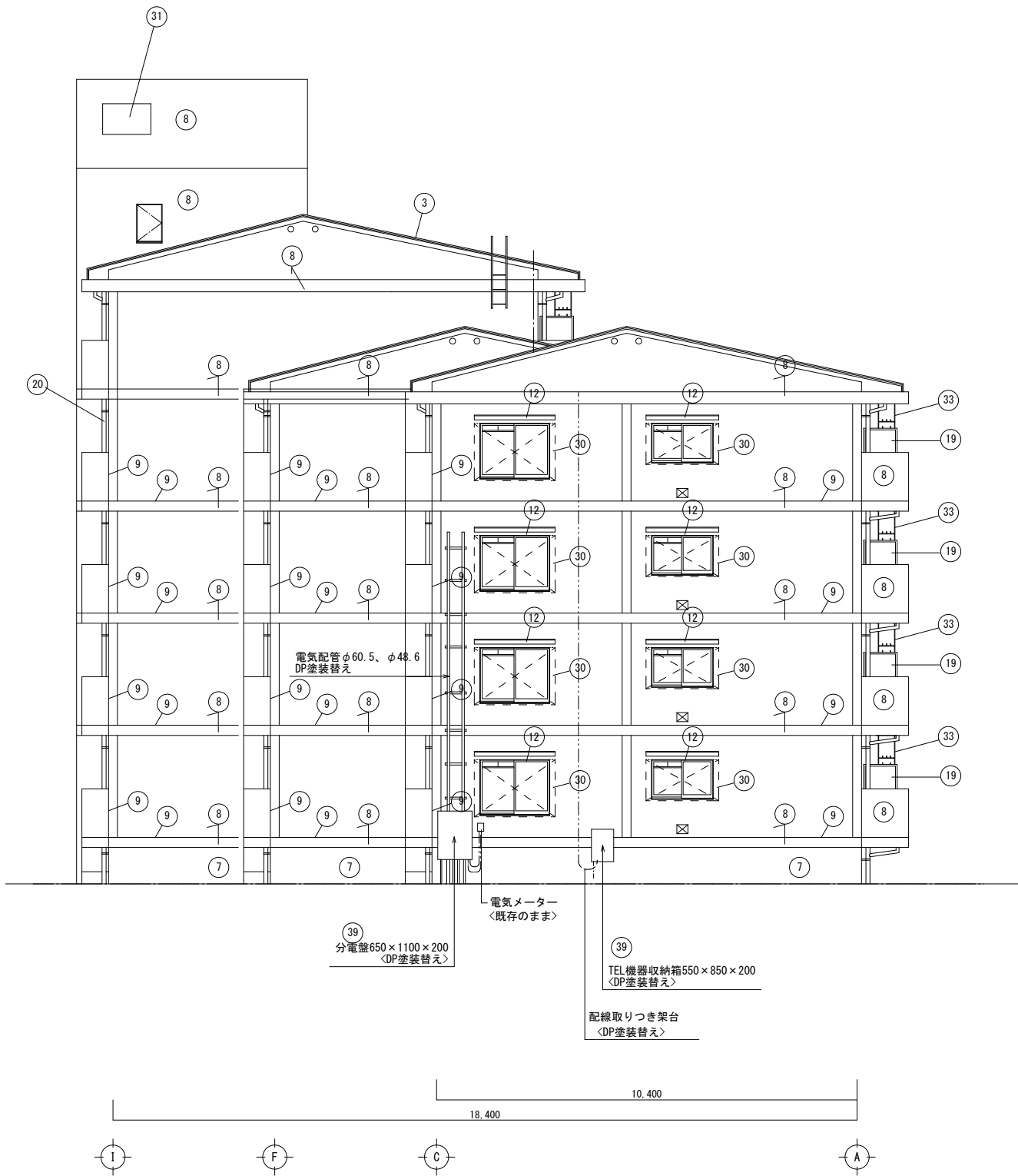
C立面图 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録 2 4 ( 1 ) 第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	PL.				
						立面图 ( 1 )		

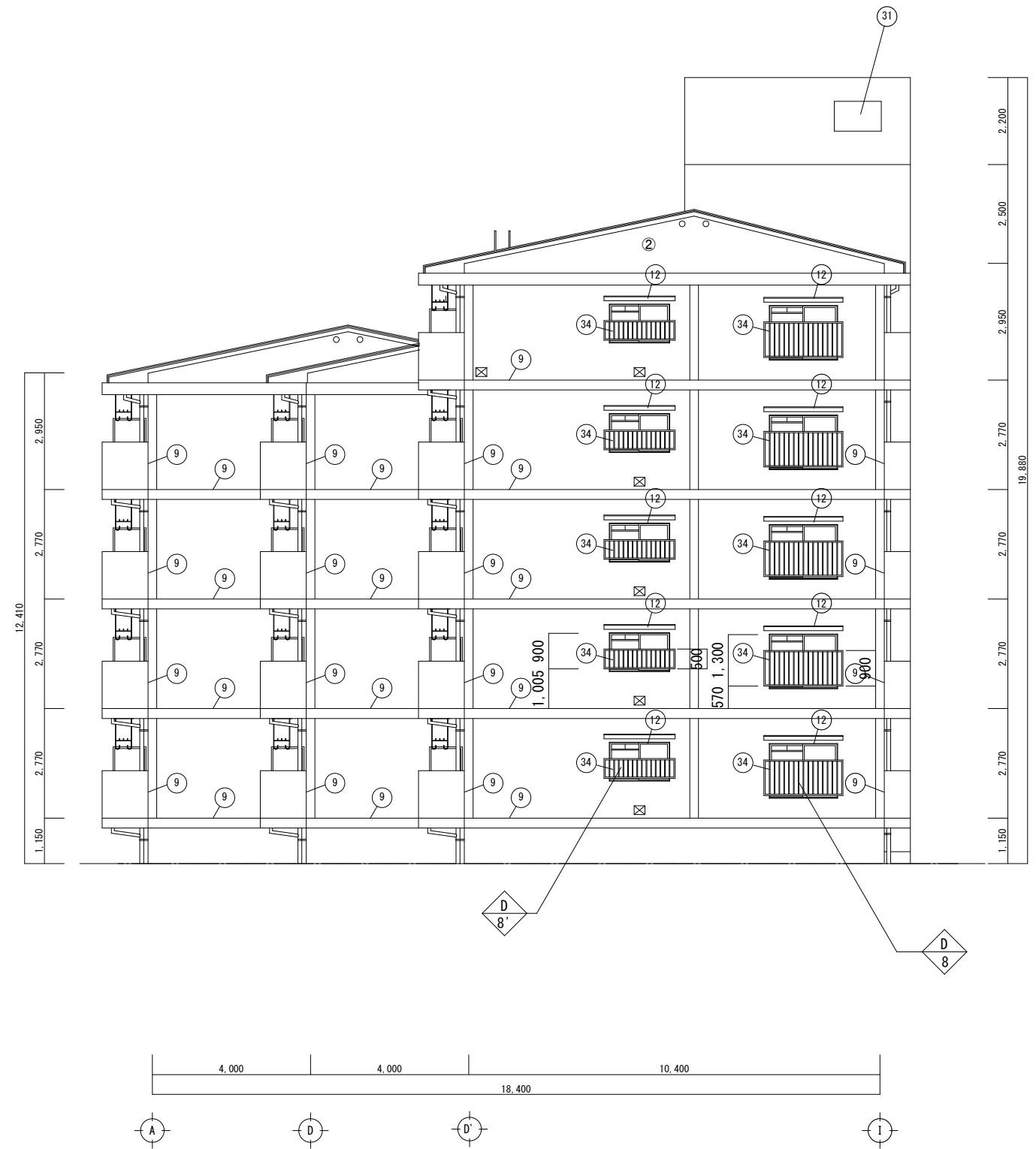


A立面図 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録 24(1) 第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	PL.				
						立面図(2)	08	

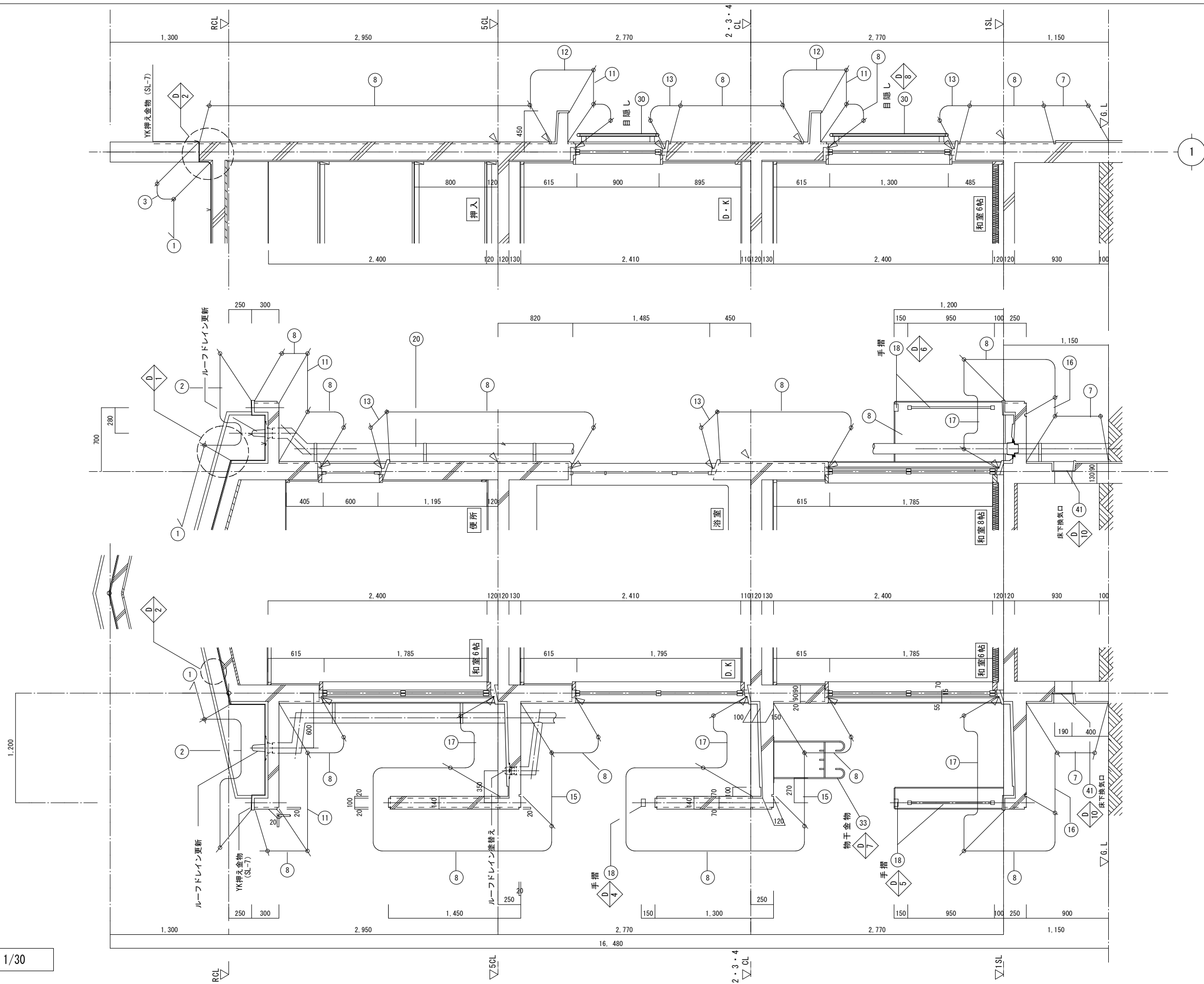


D立面図 S=1/100



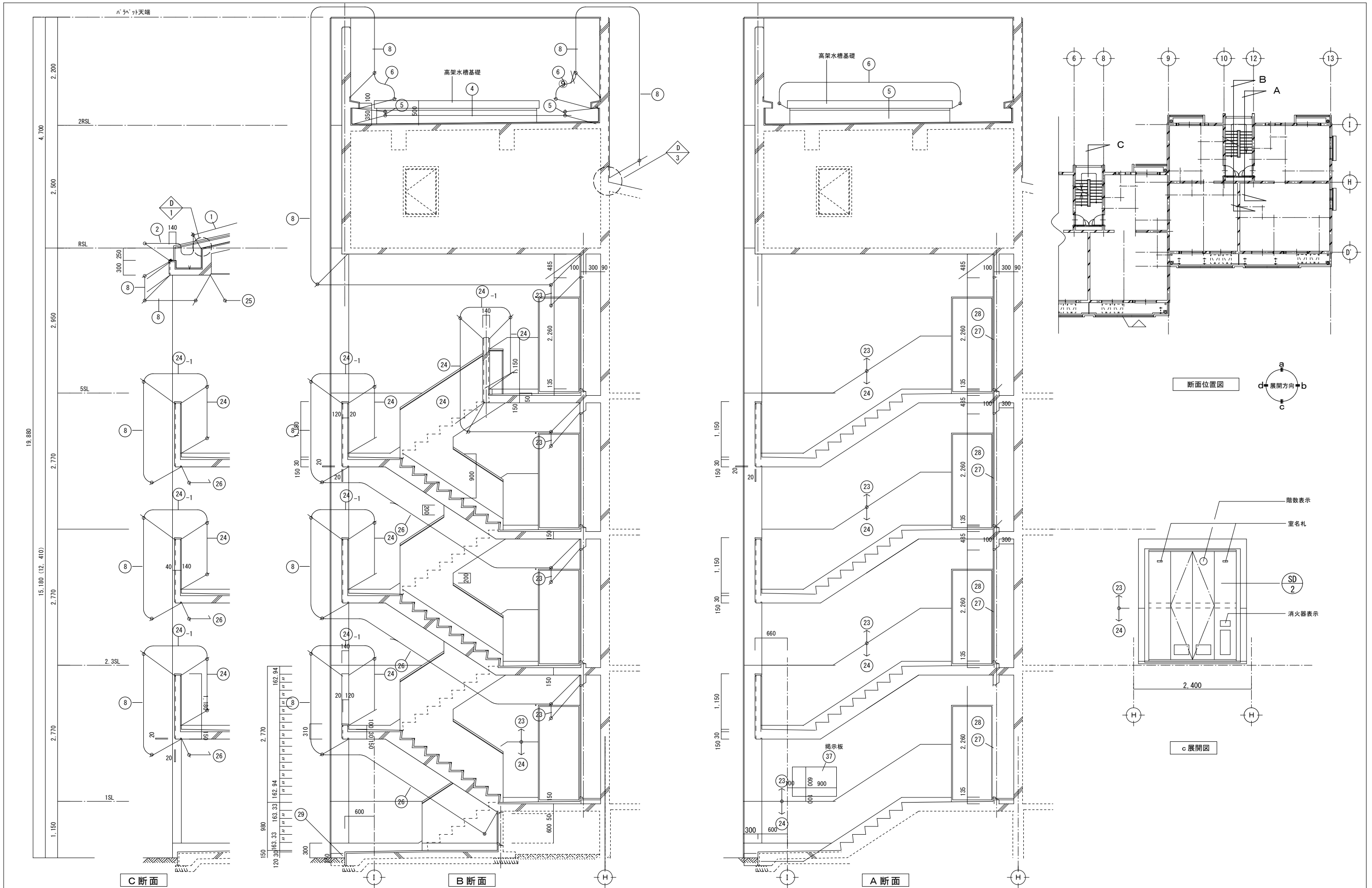
B立面図 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-2: 100% A-3: 71% A-4: 50%
			CH.	PL.	DR.	1/100		



矩計図 1/30

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録 2 4 ( 1 ) 第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	PL.				



特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録 2 4 ( 1 ) 第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	PL.	DR.	1/50		

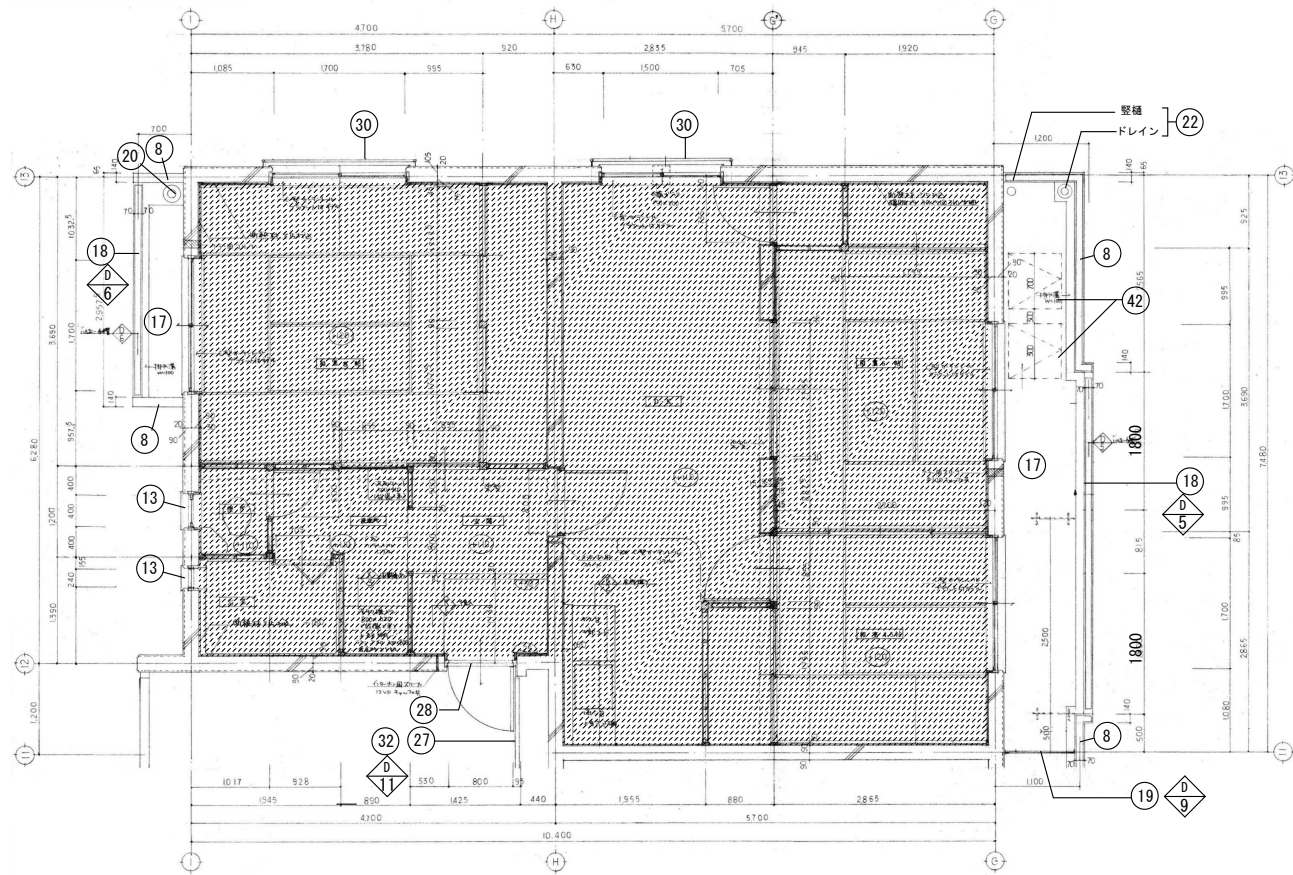
符号・場所	SD 1 玄関			SD 2 階段室			SD 3 階段室			SD 4 塔屋			SUS 1 浴室			G 1 DK		
改修項目	DP塗替え（両面）			DP塗替え（両面）			DP塗替え（両面）			DP塗替え（両面）			建具周囲シーリング打替え、ガラスクリンク網戸新設			DP塗替え		
棟階	1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	R階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階
1	6	6×3	2	3	3×3	1	3			1			6	6×3	2	6	6×3	2
形状・寸法																		
材種	スチール製			スチール製			スチール製			スチール製			ステンレス製			スチール製		
型式	片開き両面フラッシュ7			両開きフレッド7両袖ハネル（ケントン）			片開きアングル7			片開フラッシュ7			ハメ殺し付内倒し窓			ガラス窓		
見込・仕上	80 FP			50 FP			45 FP			86 FP			30					
金物				階数表示板（SK500WF-NA）（取替）														
ガラス				室名札（SK-602AP）（取替）														
備考				消火器表示（取替） ピクトグラム、取扱い表示、赤白表示 215×250、樹脂製、ビス止め（4カ所）														
備考				消火器BOX、牛乳受箱（既設のまま）														
符号・場所	AW 1 和室			AW 2 和室			AW 3 DK			AW 4 便所								
改修項目	建具周囲シーリング打替え、ガラスクリンク						建具周囲シーリング打替え、ガラスクリンク			建具周囲シーリング打替え、ガラスクリンク			建具周囲シーリング打替え、ガラスクリンク 網戸新設：17カ所 既存網戸（木製）撤去（3カ所）					
棟階	1階	2～4階	5階				1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階			
1	18	18×3	6				2	2×3	1	2	2×3	1	4	4×3	1			
形状・寸法																		
材種	7Lミ合金押出型材												7Lミ合金押出型材					
型式	引違い戸小窓付												内倒窓					
見込・仕上	70												60					
金物							AW 1 二準ずる			AW 1 二準ずる								
ガラス																		
備考																		

凡例  
----- 建具周囲シーリングを示す

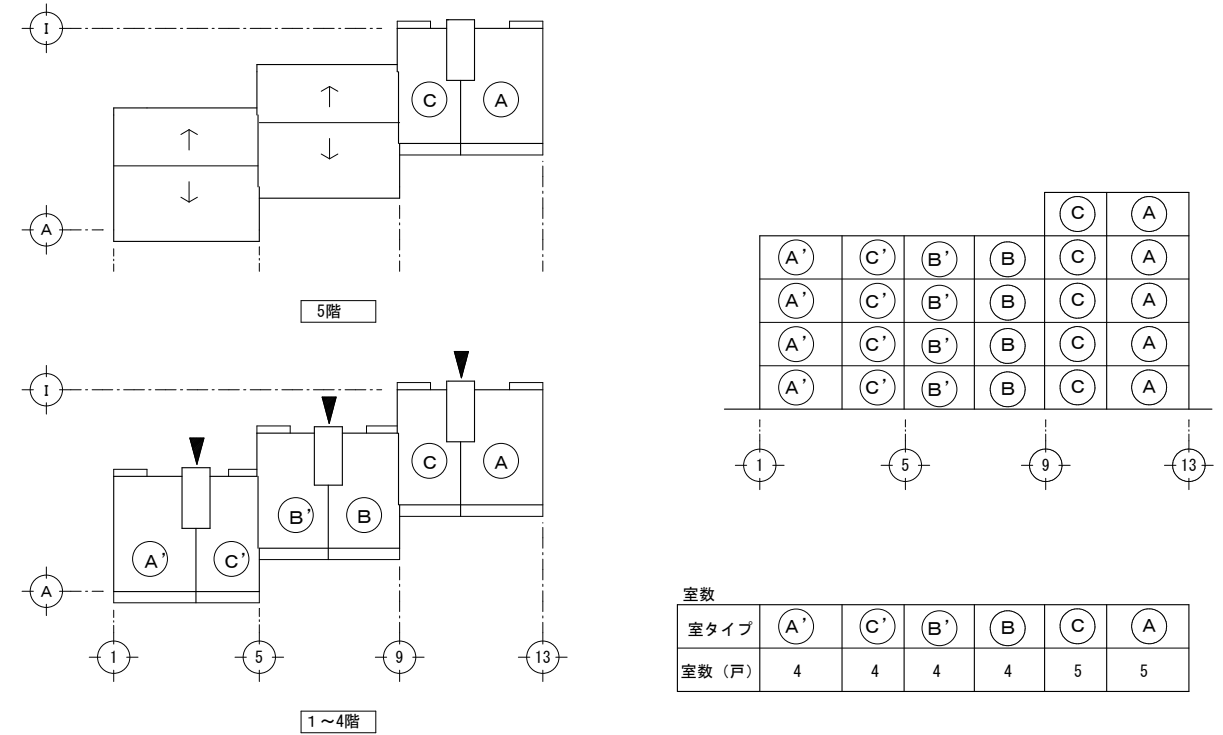
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE 2026.03.	SCALE 1/50	TITLE 市宮宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事 建具表	NO. A 12	図面縮小率 A-2: 100% A-3: 71% A-4: 50%
------	------	---	----------	------------------	---------------	-----------------------------------	----------------	--



Ⓐ タイプ平面図 1/50

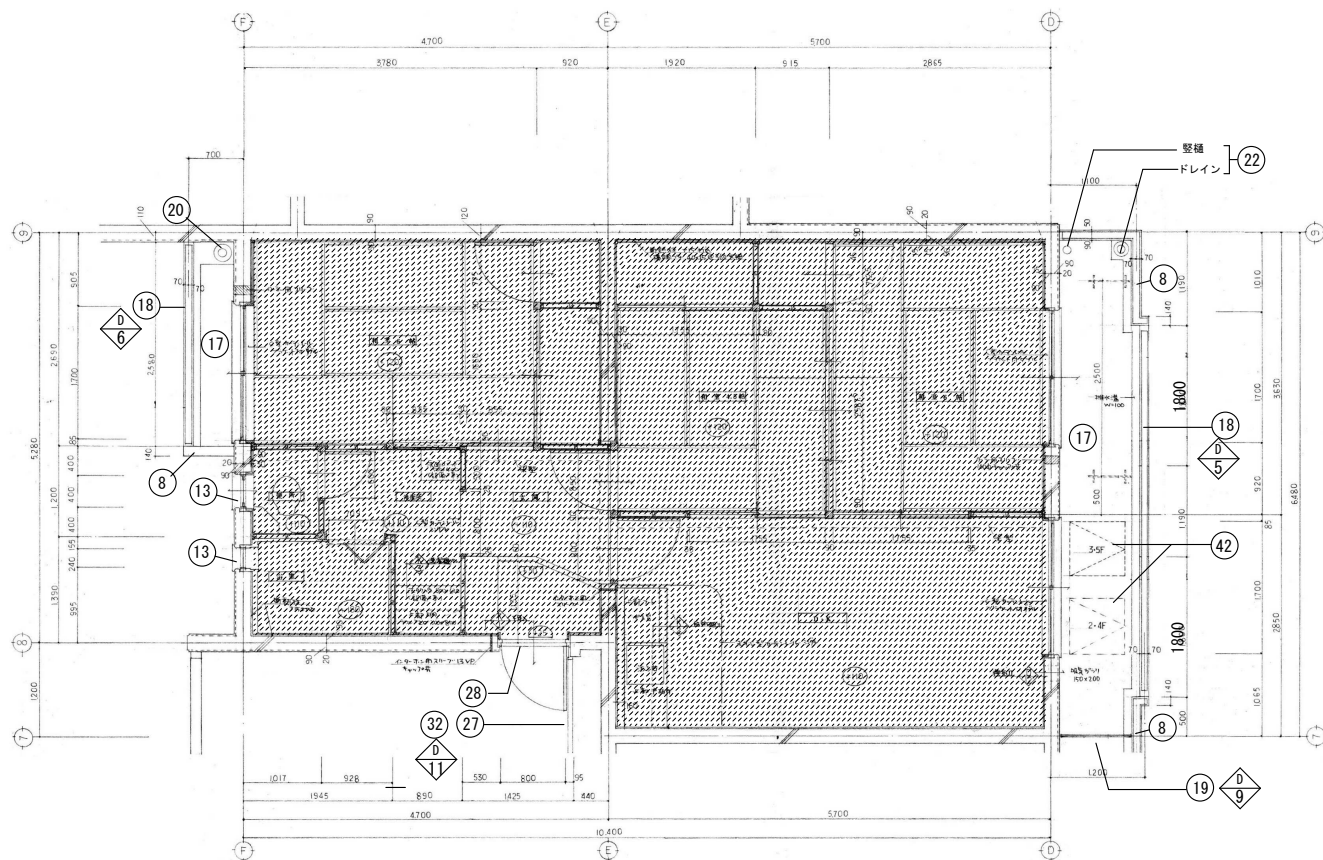


室タイプキープラン 1/500

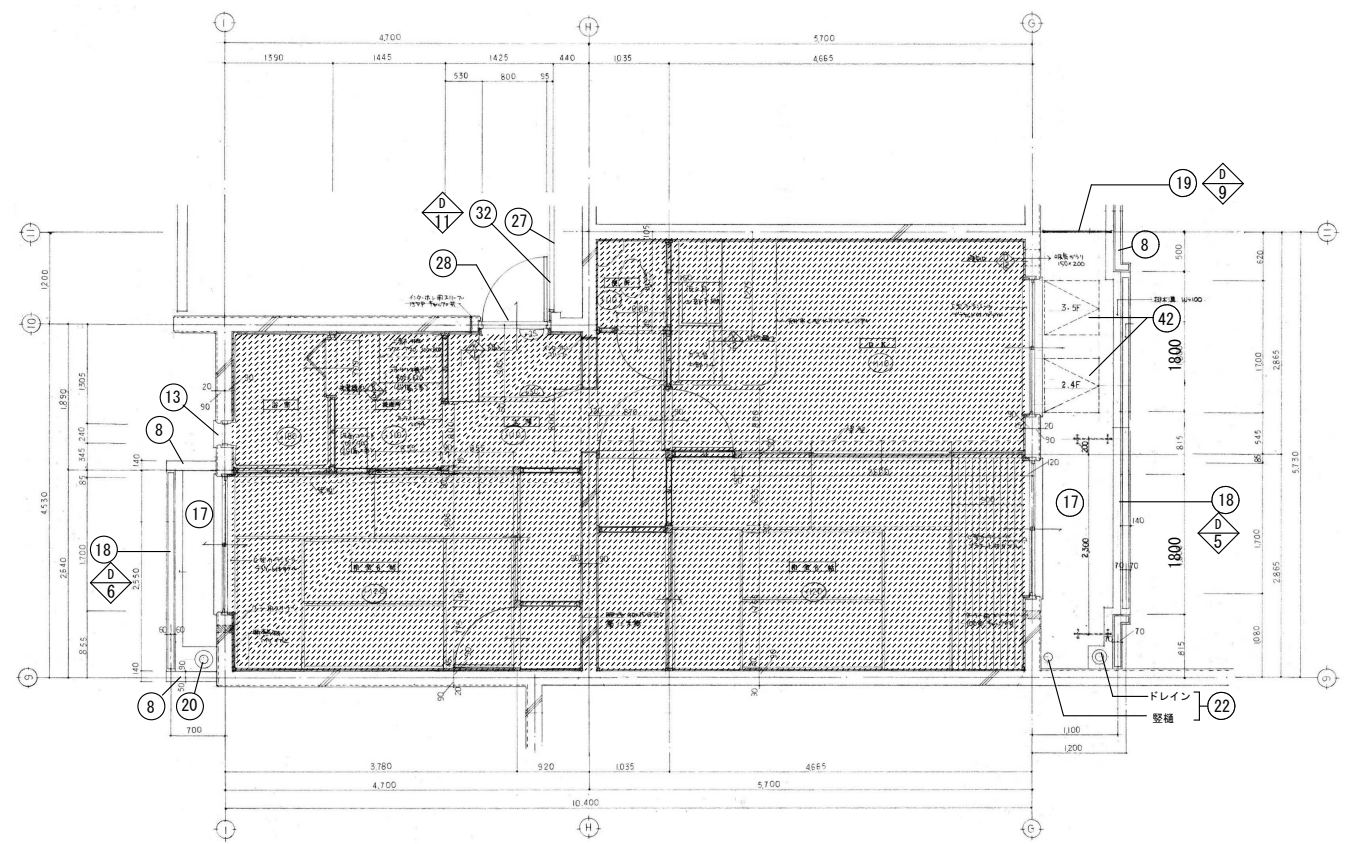


Ⓐ Ⓒ Ⓑ は左右対称プラン

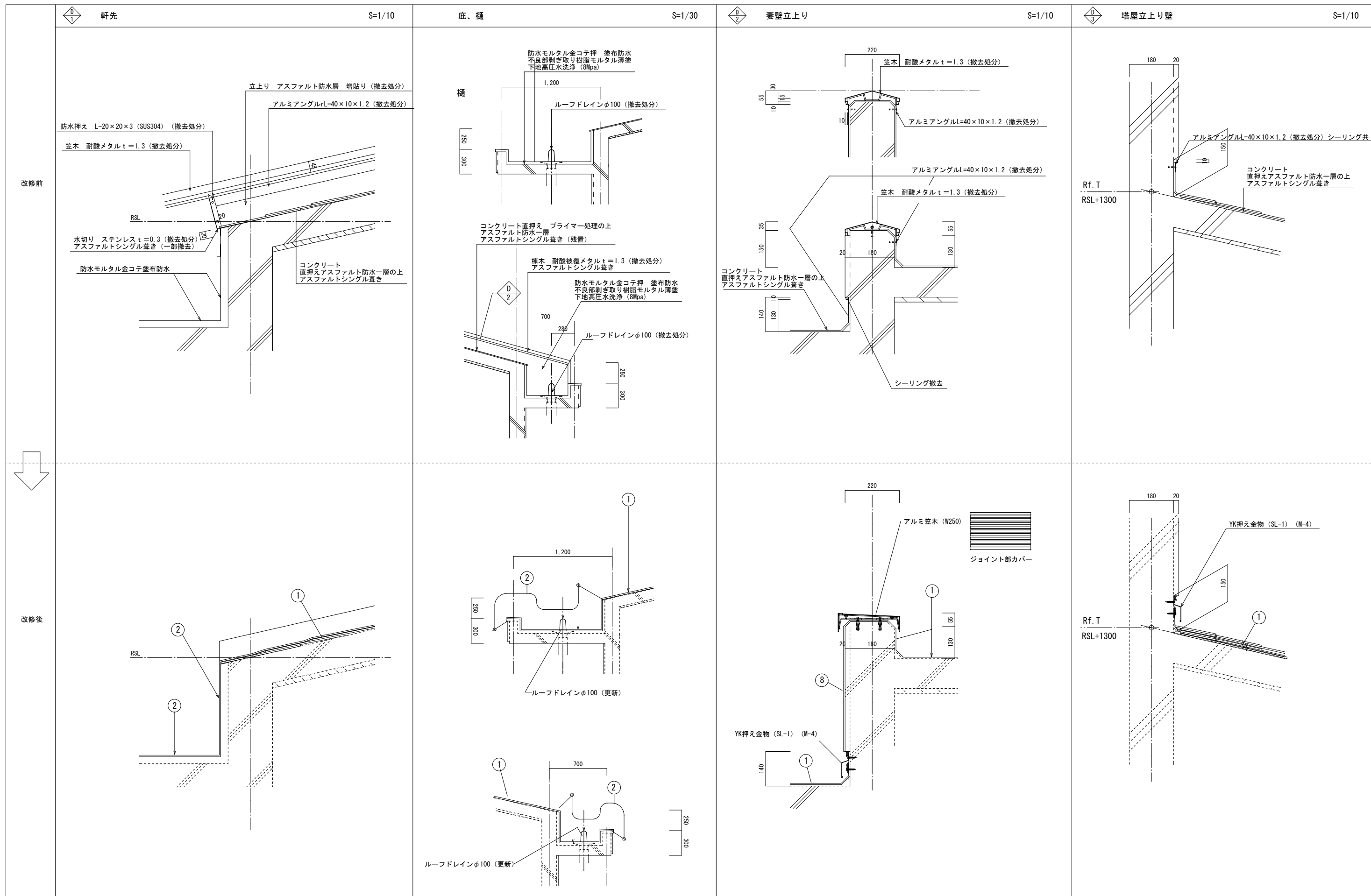
Ⓑ タイプ平面図 1/50



Ⓒ タイプ平面図 1/50

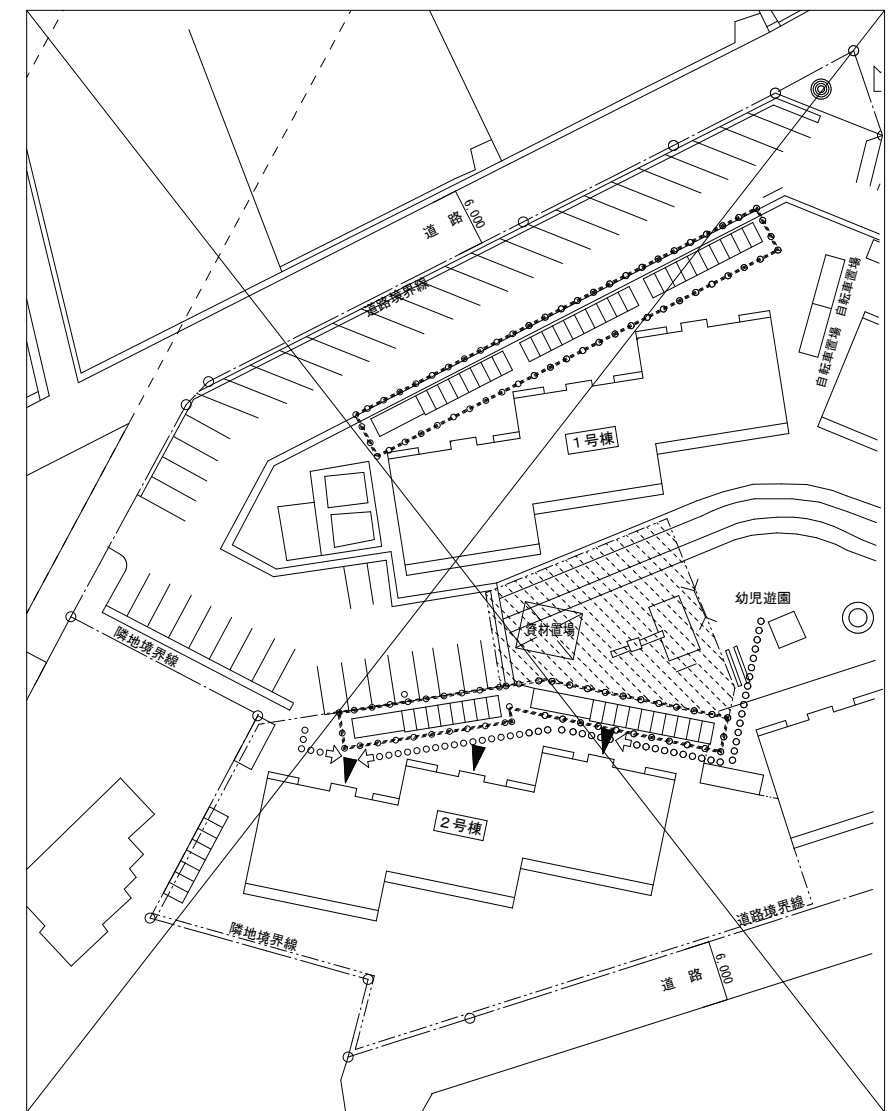
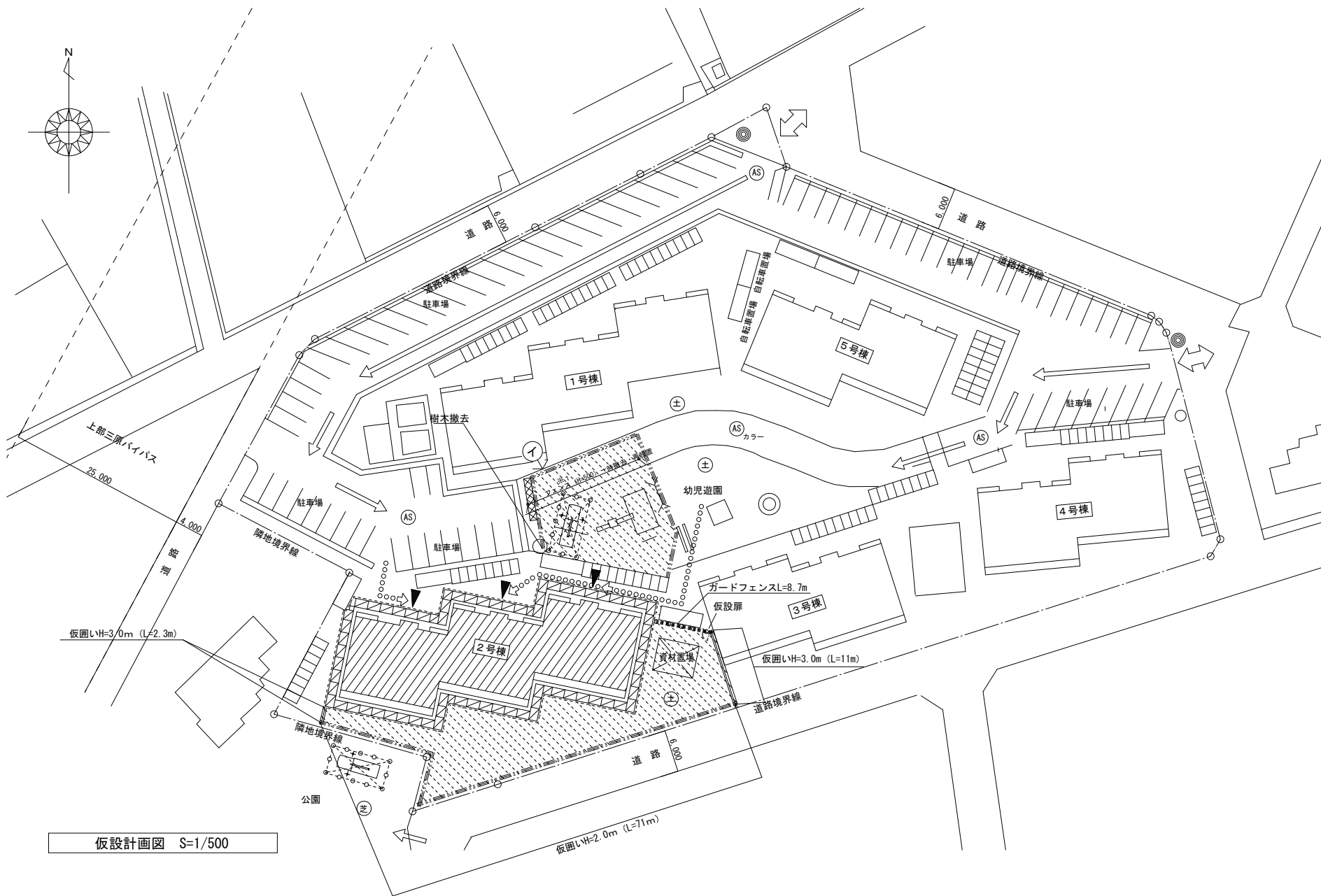


特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録24(1)第5062号 協同組合 建築設計団SOU間 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO. A 14	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	P.L.	DR.	1/50		



特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録 2 4 ( 1 ) 第5062号 <b>協同組合 建築設計団SOU間</b> 一級建築士 第234595号 前岡 正伸	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	PL.	DR.	NAME		
					1/10 1/30	市宮宮浦北住宅 2号棟外壁等改修工事	15	A-3 : 71%
						部分詳細図 ( 1 )		A-4 : 50%





凡例

記号	内容	備考	記号	内容	備考	記号	内容	備考
	工事部分			仮囲い 成形鋼板H=3.00 作業ヤード	※一部H=2.0mの箇所あり。図示のとおり		アスファルト舗装	重機搬入においては養生し、撤出後は補修のこと
	工事車両の進入・退出口を示す。			キャストパネルゲート W=6.00 H=2.00			カラーアスファルト舗装	
	居住者の動線を示す	工事の進捗状況により工事監督員の指示によるとともに、工事動線と交差することなく、居住者の安全な動線を確認すること。		コーン、コーンパー			土	
	各1階階段室出入口(計3ヶ所) 外部足場設置において、1階階段室に出入り口を設け、安全対策(合板により3面を囲うこと)			ガードフェンス	目隠しタイプ		芝(公園)	
	交通誘導警備員を示す。	大型車両の進入時は随行対応		工事車両置き場を示す	駐車場の3区画程度を見込んでいる。 詳細は監督員と協議の上決定とする。	<p>※1 重機搬入につき既存フェンス一時撤去・再設置 L=18m</p> <p>① 矢視図</p>		
				クレーンを示す	屋上に資材搬入 舗装養生、芝(公園)養生			
				枠組本足場 建地幅900mm、 H=建物の高さ以上、メッシュシート張り		仮設計画 ・住人、作業員の動線については、別途監督員と協議し、安全の確保をはかること。 ・資材置き場等については、別途監督員と協議すること。 ・工事用車両の駐車については、仮設計画図による他、別途監督員と協議すること。 ・階段部 通路を設ける(玄関まで)		
				昇降足場		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">参考図</div>		

# 三原市役所

三原市港町3丁目5番1号 TEL(0848)64-2111

課長 係長 設計 校閲

日付

備考

工事名

市宮宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事

図面名称

仮設計画図(参考図)

縮尺

1/500

図面番号

A-17

# 参 考 数 量 書

工 事 名 称 市営宮浦北住宅2号棟外壁等改修工事

工 事 場 所 三原市宮浦一丁目

[工 事 概 要]

用途、構造、面積

市営住宅、鉄筋コンクリート造5階建て、延床面積1,896.57㎡

工 事 範 囲

改修工事一式

別 途 発 注 工 事

無 し

工 期

契約締結日の翌日 ～ 令和9年2月25日

一 般 事 項

《 工事予算内訳 》

合 計 金 額

〈内 訳〉

区 分

金 額

概 要

設 計 金 額

消 費 税 額

合 計 金 額

# 工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		







建築工事 中科目別内訳

建屋改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
屋根防水改修	撤去	1	式		
屋根防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
塗装改修		1	式		
計					
その他工事		1	式		
計					







建築工事 細目別内訳

建屋改修		屋根防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗い	8Mpa	613	m <sup>2</sup>			
(屋根)						
アスファルトシングル葺き (カバー工法)	平場	448	m <sup>2</sup>			
アスファルトシングル葺き (カバー工法)	立上り	21.8	m <sup>2</sup>			
YK押え金物	(SL-7) (M-4)	35.7	m			
アルミ笠木	W=250	41.4	m			
アルミ笠木	役物(山型)	4	か所			
(庇・樋)						
樹脂モルタル薄塗	補修部	5.9	m <sup>2</sup>			
塗膜防水(X-2)	平場	58.6	m <sup>2</sup>			
樹脂モルタル薄塗	補修部	4.3	m <sup>2</sup>			
塗膜防水(X-2)	立上り	42.9	m <sup>2</sup>			
塗膜防水(X-2)	天端	13.1	m <sup>2</sup>			
ルーフトレン	縦形100φ	12	か所			
(階段室屋根)						

建築工事 細目別内訳

建屋改修		屋根防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜防水(X-2)	平場	9.4	m <sup>2</sup>			
塗膜防水(X-2)	立上り・防水顎	13.2	m <sup>2</sup>			
塗膜防水(X-2)	高架水槽基礎天端・見付	5.4	m <sup>2</sup>			
(外壁)						
塗膜防水(X-2)	小庇天端	23	m <sup>2</sup>			
塗膜防水(X-2)	窓廻り面台	43.6	m			
(ハ <sup>ル</sup> コニー)						
ポリマーセメント系塗膜 防水材塗	ハ <sup>ル</sup> コニー床	190	m <sup>2</sup>			
ポリマーセメント系塗膜 防水材塗	ハ <sup>ル</sup> コニー排水溝・立上・天端・面台	85.2	m <sup>2</sup>			
(シーリング <sup>+</sup> )						
シーリング <sup>+</sup>	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10 金物取合部	35.7	m			
シーリング <sup>+</sup>	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 15×10 打継目地部	803	m			
シーリング <sup>+</sup>	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10 建具廻り部	771	m			
計						



# 建築工事 細目別内訳

建屋改修		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	2,267	m <sup>2</sup>			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修	334	m <sup>2</sup>			
高圧水洗浄	150～200kg/cm <sup>2</sup> バルコニー床含む	2,909	m <sup>2</sup>			
(劣化改修)						
A-1 打放し面表面劣化 処理		5	m <sup>2</sup>			
A-2 モルタル面表面劣化 処理		334	m <sup>2</sup>			
B-1 打放し面樹脂注入	0.2未満	3	m			
B-1 打放し面樹脂注入	0.2～1.0mm	7.9	m			
E-2 打放し面欠損部 処理	セパ <sup>o</sup> 跡	23	か所			
E-3 モルタル面欠損部 処理		0.1	m			
D-1 モルタル面浮き部 処理		0.1	m <sup>2</sup>			
(改修)						
撥水材塗布	根廻り	98.7	m <sup>2</sup>			
複層塗材 E	RC面 外壁	1,685	m <sup>2</sup>			
外装薄塗材 E	RC面 外壁 階段室(上部)	189	m <sup>2</sup>			







建築工事 細目別内訳

建屋改修		塗装改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
D P塗り 下地調整共	(バルコニー・窓手摺)	1,922	m			
D P塗り 下地調整共	(バルコニー手摺)パネル部	44.5	m <sup>2</sup>			
D P塗り 下地調整共	(物干金物)	52	か所			
D P塗り 下地調整共	(バルコニー隔壁)	79.2	m			
D P塗り 下地調整共	(ケイカル板面)新規面	38.8	m <sup>2</sup>			
D P塗り 下地調整共	(電気配管)	20.2	m			
D P塗り 下地調整共	(盤類)	2.7	m <sup>2</sup>			
D P塗り 下地調整共	(配線取付架台)	11	m			
D P塗り 下地調整共	(床下換気孔) 440*210	18	か所			
D P塗り 下地調整共	(避難ハッチ)	11	か所			
D P塗り 下地調整共	(鋼製建具面)	274	m <sup>2</sup>			
中継トレン塗替		52	か所			
計						

# 建築工事 細目別内訳

建屋改修		その他工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径100	144	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径75	29.6	m			
壁 けい酸カルシウム板張り	タイフ2(ノアス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボート下地 突付け	19.4	m <sup>2</sup>			
棟番号表示新設 (ステンレス製)	400×300, 700×200	2	か所			
避難表示ステッカー 新設	400×150	26	組			
避難ハッチ蓋新設	ステンレス製	11	か所			
換気口カバー (クリーニング)	ステンレス製	78	か所			
集合郵便受 (クリーニング)		3	か所			
ガラスクリーニング		285	m <sup>2</sup>			
目隠し:アルミルーバー W2000×H1300	一時撤去・再取付	4	か所			
目隠し:アルミルーバー W1800×H900	一時撤去・再取付	4	か所			
掲示板	一時撤去・再取付	3	か所			
住居表示	一時撤去・再取付	3	か所			
エアコン室外機	移設・復旧	14	か所			
BSアンテナ	移設・復旧	5	か所			







建築工事 別紙明細

建屋改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 22m未満 - -	1,771	m <sup>2</sup>			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 22m未満 - -	1,771	m <sup>2</sup>			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 22m未満 - -	1,771	m <sup>2</sup>			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	115	m <sup>2</sup>			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 - -	115	m <sup>2</sup>			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	115	m <sup>2</sup>			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	158	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	158	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	158	m			
ブラケット足場	運搬共	172	m			
梁枠足場	2スパン用	3	か所			
計						

建築工事 別紙明細

建屋改修		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
災害防止		1	式			別紙 00-0004
金網式養生枠	掛払い手間 -	233	m <sup>2</sup>			
金網式養生枠	供用1日賃料 修理費含む -	233	m <sup>2</sup>			
金網式養生枠	基本料 修理費含む -	233	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 掛払い手間 -	1,653	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 供用1日賃料 修理費含む -	1,653	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 基本料 修理費含む -	1,653	m <sup>2</sup>			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0005
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,886	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	158	m			
仮設材運搬 (金網式養生枠)		233	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,653	m <sup>2</sup>			
計						



建築工事 別紙明細

建屋改修		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0007
発生材積込み	ボード・木材類 人力	0.8	m3			
発生材積込み	金属類	0.4	m3			
発生材積込み	木くず	0.3	m3			
計						
とりこわし 発生材運搬		1	式			別紙 00-0008
とりこわし 発生材運搬	廃プラスチック類	0.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	石綿板(一般)	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	金属類	0.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	木くず	0.3	m3			
計						





